

先端デバイス向け回路検査機器伸長で 20/3 期 6.8%増 12.6%経常増と経常最高益更新へ

株価 2678 円 (8/30) 時価総額 558 億円 (8/30) 発行済株 20849 千株 (8/30)

PER (DO20/3 期予 20.5X) PBR (2.2X) 配当(20/3) 28 円 配当利回り : 1.05%

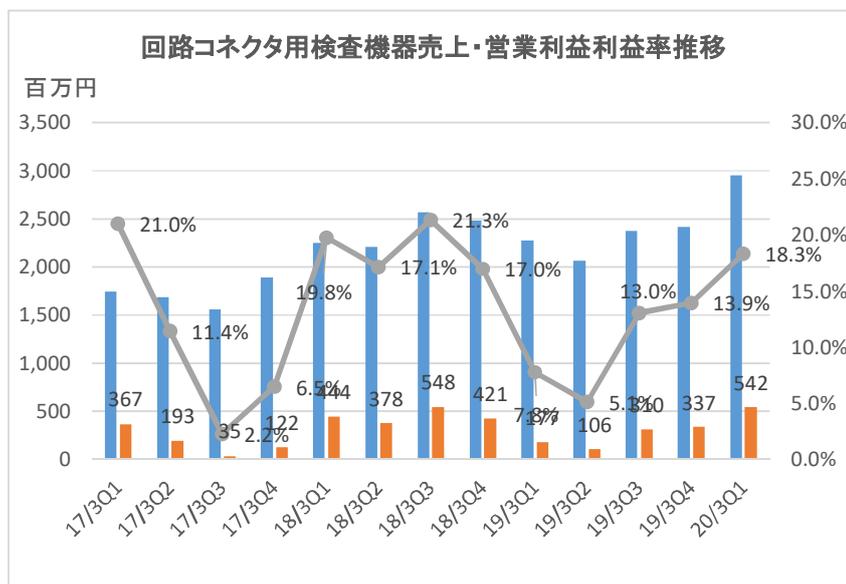
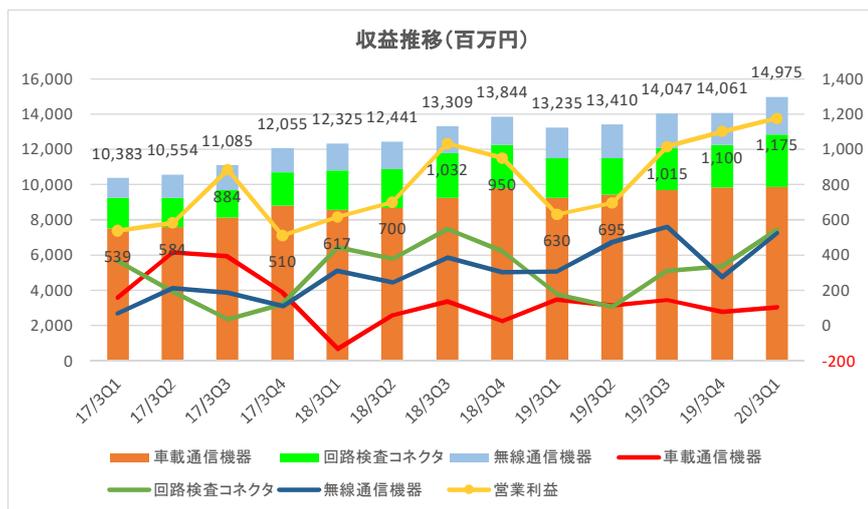
要約

- ・ 20/3Q1 は回路検査用コネクタと無線通信機器好調で 13%増収 84%営業増 12%経常増益
- ・ Q1 好調受け会社側は 20/3 期計画を上方修正し 6.8%増収 12.6%経常増と最高益更新続く
- ・ 21/3 期は回路検査用コネクタや無線通信機器で新製品拡大から 4 期連続経常最高益更新へ
- ・ 株価は連続経常最高益で 21/3 期 DO 予 EPS168 円に対し電機平均 PER18.8 倍 3150 円へ

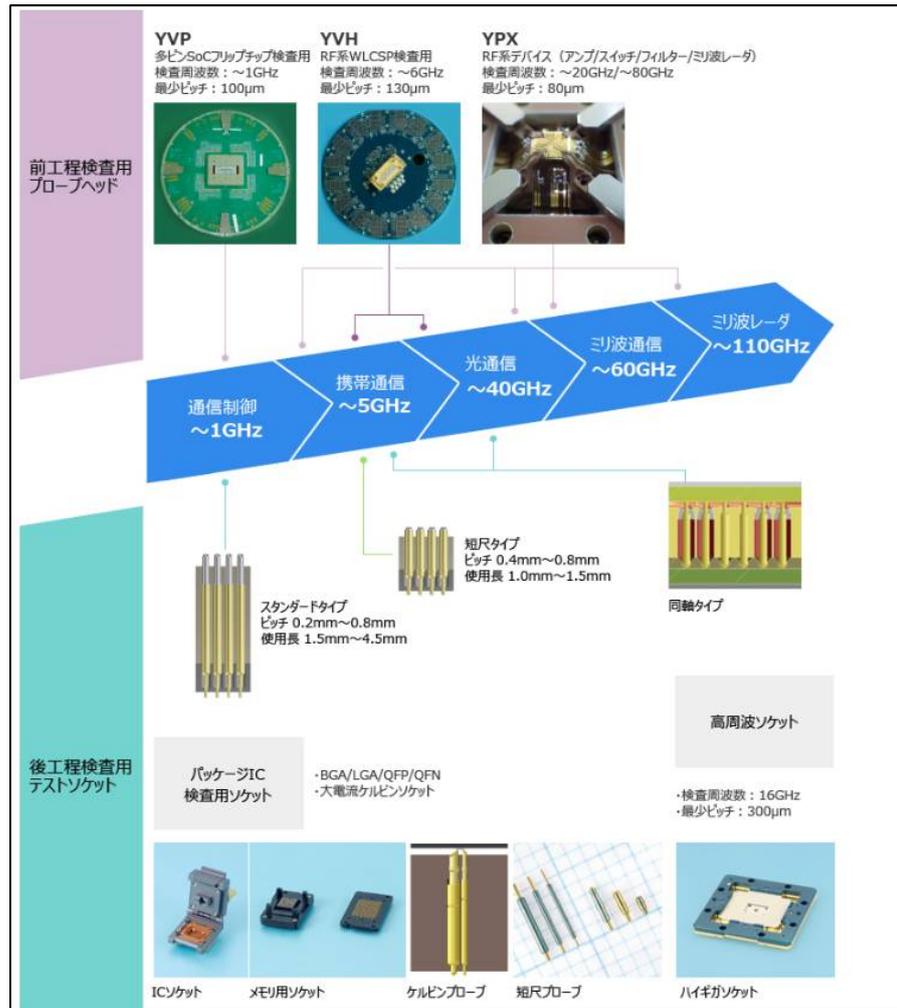
20/3Q1 は回路検査用コネクタと無線通信機器好調で 13%増収 84%営業増 12%経常増益

20/3Q1 は売上高 149.75 億円 (13.1% 増)、営業利益 11.75 億円 (86.3%増)、経常利益 9.32 億円 (11.6%増)、税引利益 6.94 億円 (20.2%増) に。社内計画に対して回路検査用コネクタと無線通信機器伸長で上振れし、大幅営業増益となった。

部門別では車載通信機器が米中摩擦の長期化から米、中での自動車販売が減少する中で主力製品のシャークフィンアンテナなどが伸び、売上高は 6.9%増の 98.64 億円を確保した。利益面では部材

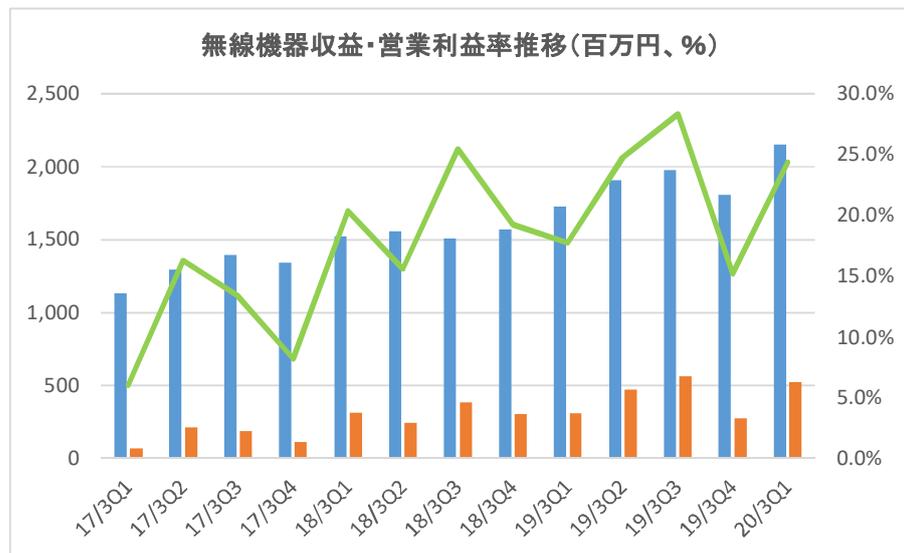


調達逼迫で輸送費がかさみ、人件費増もあり28.2%減の1.05億円にとどまった。一方、回路検査用コネクタは後工程（全体の80%）でメモリ向け（約10%の構成比）が低迷する中でロジック向け（約60%）が大幅伸長、加えて前工程（全体の8%）では5G向けに新規にターンキービジネスでの受注増で売上倍増が寄与、高周波部品検査向けプローブカード



YPXも新規ユーザーが加わり伸長、売上高29.57億円（29.9%増）、営業利益5.42億円（3.1倍）に。

無線機器は前期に続き微細スプリングコネクタがPOS端末（全体の約30%）や電子タバコ（同10%）向けに伸び、医療デバイス（同10%）も堅調な伸びを示し、売上高21.53



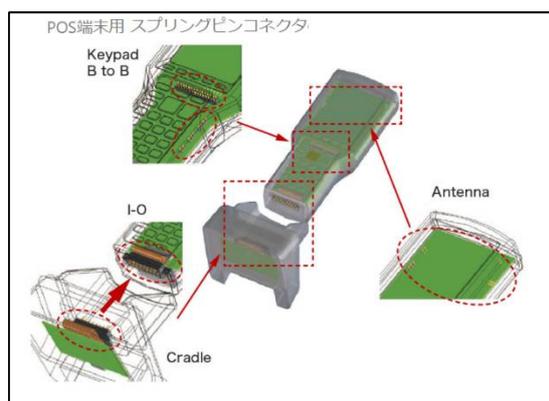
億円 (24.5%増)、営利 5.25 億円 (71.3%増) と好調を維持した。

なお、経常利益は為替の円高傾向から為替差損が 2.42 億円 (前 Q1 は 2.0 億円の差益) 発生し、増益率が抑えられた。



導水性コーティング 拡穴線

自動車用プローブアセンブリ



### Q1 好調受け会社側は 20/3 期計画を上方修正し 6.8%増収 12.6%経常増と最高益更新続く

20/3Q1 での収益好調受け、会社側は期初計画を上方修正、売上高 585 億円 (5 億円増額、6.8%増)、営業利益 40.5 億円 (4 億円増額、37.7%増)、経常利益 37 億円 (1 億円増額 12.6%増)、税引利益 26.5 億円 (1.5 億円増額 20.0%増) とした。車載通信機器は米中摩擦などで自動車販売が低調となる見通しで下期を弱めに想定、売上高 390 億円 (5 億円減額、2.1%増)、回路検査用コネクタは非メモリ向けの拡大続く見通しで売上高 110 億円 (10 億円増額、20.4%増)、無線通信機器は計画変更なく売上高 85 億円 (14.4%増) とした。利益面では上期営業利益を 5 億円増額の一方、下期は車載通信機器の収益性低調持続を想定し期初計画を 1 億円減額した。

現状、車載通信機器は世界的な自動車販売が低調なため、同社のユーザーが 90%日系メーカーとは言うものの、会社計画を若干下回ろう。逆に回路検査用コネクタは、先端ロジックデバイスの拡大寄与が高まり、上方修正見通しにある。無線機器は計画通り進む見通しで、全体として会社増額修正予想並みの収益が見込まれ、営業利益で 18/3 期を抜き最高益更新とともに経常利益は 3 期連続最高益更新が期待される。

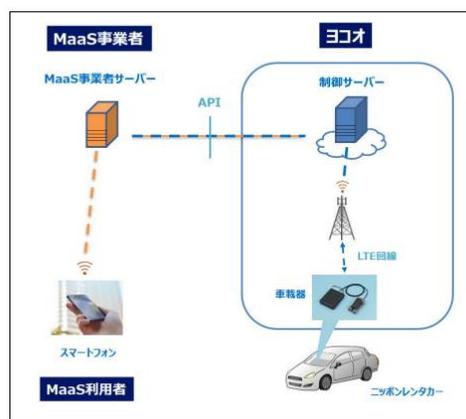
### 21/3 期は回路検査用コネクタや無線通信機器で新製品拡大から経常最高益更新続く

21/3 期は車載通信機器が自動車販売の世界的な鈍化見直し継続ながら、同社は主力ユーザーの新型車増で主力のアンテナで増収を確保する見通しの他、車載後方撮影カメラ内蔵型シャークフィンアンテナ (映像はバックミラーに投影) の新規投入なども寄与し、増収を確保しよう。また MaaS 向けではクラウドから安全に車の鍵の開閉を制御するシステムを開発、ニッポンレンタカーサービスの「セルフレンタカー」に搭載され、新たな事業展開も見込まれる。利益面ではベトナムでの組立ライ



ンの自動化効果が本格寄与し生産効率改善も進む見通しで、20/3 期のような部材調達難による一時費用の一巡もあり、収益性が回復見通しにある。回路検査用コネクタは後工程でロジック中心にテストソケットが高周波、多ピン化需要の高まりから拡大が見込まれ、メモリ

向けも 3DNAND 向けの回復が見込まれ、前工程では 5G 向けが本格拡大見通し、高周波デバイス向け YPX の拡大も村田製作所向けに加え販売先の拡大で大幅増収が見込める。収益性も先端デバイス向け拡大で利益率の向上が見込める。無線通信機器では医療機器向け新製品が本格的に拡大見通しで投資回収から収益性大幅改善が見込まれ、収益性の高いスプリングコネクタも POS 向け、電子タバコ向けに伸びが続く見通し。全体を通じて



米中問題の摩擦激化があっても 21/3 期は回路検査コネクタ、無線通信機器の収益拡大から連続最高益更新が見込め、22/3 期中計予想の売上高 675 億円、営業利益 67.5 億円、経常利益 67.5 億円、税引利益 48.5 億円の達成も視野に入ってくる。

### 株価は連続経常最高益で 21/3 期 DO 予 EPS168 円に対し電機平均 PER18.8 倍 3150 円へ

株価は 8/7 の Q 決算発表時での増額修正発表を受け 8/6 安値 1988 円から上伸、8/9 には 2805 円の年初来高値を付けてその後米中摩擦激化などで多少調整した水準にある。現状、安定した無線機器事業に加え、先端デバイス、5G 関連を中心に回路検査用コネクタの伸長が見込まれ、21/3 期は車載通信部門で自動運転を睨んでカメラ付きアンテナモジュールの投入も始まる。連続経常最高益更新が続く見通しから、21/3 期 DO 予想 EPS168 円に対し、電子部品平均 PER である 18.8 倍水準の 3150 円を目標に、NEUTRAL からアウトパフォームに変更する。

ヨコオ (6800)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
18/3期	51,919	17.8%	3,136	24.6%	2,911	11.6%	2,337	-1.9%	115.82	22.00
19/3Q1	13,235	7.4%	631	2.3%	836	21.7%	579	-1.9%	28.60	0.00
19/3Q2	13,410	7.8%	694	-0.9%	907	28.1%	708	29.4%	34.81	12.00
19/3Q3	14,047	5.5%	1,015	-1.6%	843	-19.3%	643	-13.8%	31.98	0.00
19/3Q4	14,061	1.6%	689	-12.5%	700	48.6%	279	-46.4%	13.79	14.00
19/3H1	26,645	7.6%	1,325	0.7%	1,743	24.9%	1,287	20.2%	63.41	12.00
19/3H2	28,108	14.3%	1,704	0.2%	1,543	-9.2%	922	-16.2%	45.77	14.00
19/3期	54,753	5.5%	3,029	-3.4%	3,286	12.9%	2,209	-5.5%	109.18	26.00
20/3Q1	14,975	13.1%	1,175	86.3%	932	11.6%	694	20.1%	34.32	0.00
20/3Q2会予(8/7)	11,676	10.6%	975	40.5%	868	-4.3%	606	-14.4%	29.91	8.00
20/3H1期初会予	28,000	5.1%	1,650	24.5%	1,600	-8.2%	1,100	-14.6%	54.36	14.00
20/3H1修正会予(8/7)	29,500	10.7%	2,150	62.3%	1,800	3.3%	1,300	1.0%	64.23	14.00
20/3H2期初会予	30,000	6.7%	2,000	17.4%	2,000	29.6%	1,400	51.8%	69.18	14.00
20/3H2修正会予(8/7)	29,000	3.2%	1,900	11.5%	1,900	23.1%	1,350	46.4%	66.69	14.00
20/3期期初会予	58,000	5.9%	3,650	20.5%	3,600	9.5%	2,500	13.2%	123.54	28.00
20/3期修正会予(8/7)	58,500	6.8%	4,050	33.7%	3,700	12.6%	2,650	20.0%	130.92	28.00
22/3期中計予想	67,500		6,750		6,750		4,850		239.61	
20/3期DO予	58,500	6.8%	4,050	33.7%	3,700	12.6%	2,650	20.0%	130.92	28.00
21/3期DO予	63,000	7.7%	5,000	23.5%	5,000	35.1%	3,400	28.3%	167.97	36.00

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期初 会予	20/3修 正会予	22/3期中 計予想	20/3期 DO予	21/3期 DO予
売上高	44,077	51,919	54,753	58,000	<b>58,500</b>	67,500	<b>58,500</b>	63,000
営業利益	2,517	3,136	3,029	3,650	<b>4,050</b>	6,750	<b>4,050</b>	5,000
経常利益	2,608	2,911	3,286	3,600	<b>3,700</b>	6,750	<b>3,700</b>	5,000
親株主帰属純利益	2,382	2,338	2,209	2,500	<b>2,650</b>	4,850	<b>2,650</b>	3,400
セグメント売上情報年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期初 会予	20/3修 正会予	22/3期中 計予想	20/3期 DO予	21/3期 DO予
車載通信機器	32,029	36,256	38,183	39,500	<b>39,000</b>	44,500	<b>38,600</b>	39,200
回路検査コネクタ	6,883	9,503	9,138	10,000	<b>11,000</b>	13,000	<b>11,400</b>	14,300
無線通信機器	5,164	6,158	7,429	8,500	<b>8,500</b>	10,000	<b>8,500</b>	9,500
合計	44,077	51,919	54,753	58,000	<b>58,500</b>	67,500	<b>58,500</b>	63,000
セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期初 会予	20/3修 正会予	22/3期中 計予想	20/3期 DO予	21/3期 DO予
車載通信機器	1,153	86	483				<b>300</b>	600
回路検査コネクタ	717	1,791	930				<b>1,795</b>	2,300
無線通信機器	575	1,240	1,616				<b>1,955</b>	2,100
営業利益	2,517	3,136	3,029	3,650	<b>4,050</b>	6,750	<b>4,050</b>	5,000
年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期初 会予	20/3修 正会予	22/3期中 計予想	20/3期 DO予	21/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
営業利益	5.7%	6.0%	5.5%	6.3%	6.9%	10.0%	6.9%	7.9%
経常利益	5.9%	5.6%	6.0%	6.2%	6.3%	10.0%	6.3%	7.9%
親株主帰属純利益	5.4%	4.5%	4.0%	4.3%	4.5%	7.2%	4.5%	5.4%
セグメント営業利益率	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期初 会予	20/3修 正会予	22/3期中 計予想	20/3期 DO予	21/3期 DO予
車載通信機器	3.6%	0.2%	1.3%				0.8%	1.5%
回路検査コネクタ	10.4%	18.8%	10.2%				15.7%	16.1%
無線通信機器	11.1%	20.1%	21.8%				23.0%	22.1%
営業利益	5.7%	6.0%	5.5%	6.3%	6.9%	10.0%	6.9%	7.9%

